

まちかど富士山のみつけかた展

身近にある富士山（のように見えるもの）を撮り続け、ついに、平成27年1月、「まちかど富士山のみつけかた展」と題した写真展を行いました。

来場者の中には、「ありゃ、富士山じゃないね?」と入口の展覧会文字とシルエットを見て、富士山に見える“山のほう”だと期待して入った人が何人もいた様子。本物の山の写真は一枚もない。手すりや水たまりの写真から始まる写真展。「ほら、シルエットが富士山のカタチでしょ」と“見立てのほう”だと説明すると、「あ、そういうことか」と。

階段や影の形でも、言われてみれば富士山っぽく見えるものがあるでしょう。こういうのは具体例とパターンを多く見せないとなんか納得してもらえせん。厳選しても260枚。「これはどこだ? なんだ、どういうことだ?」と聞かれるのは目に見えているので、長めのキャプションで補いました。ギャラリーに入ってきている段階で、フィルターがかかっているんでしょうが、途中で出たり文句をいう人はいません。それどころか熱心に鑑賞して、小さなコンビニほどのスペースの中で1時間近く過ごす人もいたり。

まちかど富士山を撮り始めるきっかけとなったのは、広島デルタの土手上の段差階段。その写真をSNS (Social Networking Service) に投稿すると、



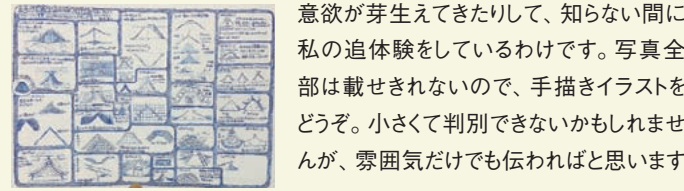
▲まちかど富士山

▲会場入口の様子



皆が面白い。「新種発見」と投稿すると、皆が探し始め、新たな発見が相次ぐ。富士山は至る所に潜んでいることがわかり、また見つかったと嬉しくなる! 見立て遊びの一種ではありますが、縁起のいいものなので、皆がハッピーな気分にもなる新発明の視点かな、と思います。まちかど富士山のいいところは、物の見方をちょっと変えるだけなのに、誰でもどこでも見立て遊びができることです。自分ひとりの遊びではもったいない。個展タイトルを「～みつけかた」にした意図はこんなところにもあったのです。

今回の写真展では、見立て富士山発見ヒストリーも伝わるといい、写真を時系列で展示しました。写真を見てこれがいとお気に入り指差ししたり、これのどこが? という怪しいヤツを見破る人や、探検宣言する人も。ざっと眺めてクスクス笑ったりしているうちに、来場者は鑑識能力と発見



▲手描きイラスト



▲会場の様子 (写真に見入る来場者)

レポーター 市民パブリシスト 飯田真三

らしくコラム
Rashikku column

観光まちづくりは“まち自慢”から

県立広島大学には「地域の理解」という授業があります。この授業は、「広島」をいろいろな視点から見つめ、「広島」の現状を理解し、「広島」の抱える課題について考えることを趣旨とし、講義(オムニバス形式)とフィールドワーク、発表会で構成されます。私は昨年度と今年度、この授業の一部を担当し、地域を理解するための視点と方法を講義するとともに、本学の立地する広島市南区でのフィールドワークを企画、運営しました。

私が企画したフィールドワークのタイトルは「〇〇の宝を探せ!」です。昨年度は「宇品」を、今年度は「似島」をフィールドに、学生たちとまち(島)を歩きながら、まち(島)の魅力をそれぞれ100個見つけ出しました。例えば宇品では、「カモメが描かれたマンホールの蓋」や「大型ショッピングセンター」、「昔ながらのお風呂屋さん」、「宇品公園のリサイクル門柱」などが挙げられました。一方の似島では、「安芸小富士」や「バームクーヘン」、「島民の温かさ」、「桟橋近くのマネキン人形」などが挙げられました。これらは、そこに永くお住まいの方にとっては何の変哲もないものかもしれませんが、そこを初めて訪れる学生たちにとっては“オモシロイ”“カワイイ”ものに映ったようです。

まちの魅力を見つげ出した後には、それらを活用してまちの魅力を発信し、他地域からも多くの人に訪れてもらうためのアイデアを考えました。宇品では、歴史的資源と現代的施設の混在している点に注目し、マスコミやインターネットを通じてその魅力を発信するとともに、地元住民がガイド

役となって宇品の小・中学生や宇品に関心をもつ他地域の方々を対象とする「宇品たんけんツアー」を定期的に開催することが提案されました。また似島では、家下集落の皆さんとの会話や写真撮影を楽しんだり、地区の大型メッセージボードへ島への想いを書き込んだりする「街ぶらツアー」、桟橋近くのマネキンを季節ごとに着せ替えてライトアップする試みなどが提案されました。

このような、まちの魅力の再発見と再評価が「観光まちづくり」の「はじめの一歩」になるのではないのでしょうか。しかも、住民による「内の眼」だけでなく、他地域の住民、とりわけ学生やアーティスト、外国人などの「外の眼」を活用して、再発見と再評価を行うことが効果的だと思われます。「あれがない」「これもない」と嘆く前に、皆さんのお住まいのまちの魅力を「内の眼」と「外の眼」で探し出し、周りの人に自慢してみたいかがでしょうか。その積み重ねがまちの魅力を高め、まちへの愛着を深め、そこでの暮らしやそこを訪れることを楽しみたい人を少しずつ増やすのではないのでしょうか。



Profile

県立広島大学 経営情報学部 経営学科
和田 崇 准教授

■専門領域／公共社会論、地域マネジメント論、地域政策論ほか

① 野外活動研究サークル
くわがた
青少年野外活動センター・広島市安佐北区

私たちは、青少年野外活動センター・こども村を拠点に活動している施設ボランティアサークルです。同センターの主催事業で、子どもたちと一緒にキャンプをしたり、職員さんの仕事をサポートしたりと、一年を通して活動しています。

メンバーは大学生が多く、大学の授業と両立しながら、週1回のミーティングをしています。全員が子どもたちのことを考え、ボランティアスタッフとしての自覚や責任を持ちながら、子どもたちの楽しい思い出となるような企画や主催事業の運営についての話し合い、スキルアップのためのレクリエーションを行っています。難しさもありますが、とてもやりがいを感じています。メンバーが一丸となり、よりよい活動が出来るように頑張っています。

今年の5月・6月頃に、野外活動ボランティア講座を予定しています。興味のある方は各施設まで詳細をお問い合わせください。



② 広島野外活動クラブ
三滝少年自然の家(西区)

「広島野外活動クラブ」は、広島県内の四年制大学に通う学生で構成されているボランティアサークルです。主な活動は三滝少年自然の家で行われる主催事業において野外炊飯、キャンプファイアなどの活動を行ったり、各主催事業のテーマに沿った企画を考え実施したりしています。また、研修会を通して子どもたちとの関わり方や緊急時の対応などを学び、個々のスキルアップにも力を入れています。他にも、施設や大学のイベントでパフォーマンスを披露したり、他団体との交流会に参加したりするなど積極的に活動しています。

今後、私たちの活動を認知してもらえるよう意欲的に挑戦していきたいと思っています。

対象▼四年制大学に通学しており活動に積極的に参加できる学生

③ 海賊船
似島臨海少年自然の家(南区)

施設ボランティアサークル「海賊船」は、主に大学生、短大生、専門学校生を中心に活動している学外サークルです。

似島臨海少年自然の家の主催事業へボランティアスタッフとして参加したり、

④ SPACE
青少年センター(中区)

青少年センターで音響を勉強しているサークル「SPACE」です!

「SPACE」では、日々の実習や、青少年センターや南区民文化センターで行われる行事の手伝い、自主イベント企画SPACE LIVE vol.1 vol.2などを通じて、音響に関する技術や知識を学んでいます。メンバーは現在16人、大学生を中心に高校生から社会人のメンバーが集まり、仲良く活動しています!

音響のことに興味があるけど機会が無い、実践経験を積みたい、イベント企画をしたい!という人を大募集しています。毎週月曜日の18時から青少年センターで活動していますので、興味のある方はぜひ一度見学にきてください。

対象▼18歳(大学生)以上の人

⑤ ハッピーベジタキッチン
中央勤労青少年ホーム(中区)

私たち「ハッピーベジタキッチン」は、昨年の10月に中央勤労青少年ホームで開かれたマクロビ食の講座をきっかけ



自主的にキャンプの研修会を行うなど、楽しみながら幅広く活動しています。また、冬には「海賊船」を中心に企画するキャンプも行っています。

活動に際しては、子どもたちとのふれあいを何より大事にしています。定例ミーティングは原則毎月2回、青少年センターで実施しています。一緒に活動してみませんか。

対象▼18歳(大学生)以上の人

⑥ White note
安佐勤労青少年ホーム(安佐南区)

私たちは、平成26年8月からの「アコースティックギター入門」講座終了後、受講したメンバーが中心となってサークルを立ち上げました。ほとんどの人がギターを始めたばかりで、コードを押さえる指も弦が食い込んで痛いし、弦をはじく仕草もぎこちないメンバーばかりです。しかし、夢は大きく「武道館のステージに立つ!」こと。そのために1曲ずつ弾ける曲を増やしていこうと頑張っています。はじめての方も大歓迎です。毎週木曜日午後7時から9時まで安佐勤労青少年ホームで活動しています。見学や体験の方は、講師の梶田先生に来ていただいでいたでく基礎から体験できます。

一緒に武道館目指しませんか? (笑)



お問合せについては、各施設へお願いします。

① 青少年野外活動センター・こども村 ☎082-835-1444
② 三滝少年自然の家 ☎082-238-6301
③ 似島臨海少年自然の家 ☎082-259-2766
④ 青少年センター ☎082-228-0447
⑤ 中央勤労青少年ホーム ☎082-222-2513
⑥ 安佐勤労青少年ホーム ☎082-879-1512
⑦ 佐伯勤労青少年ホーム ☎082-922-8424

⑦ 大和撫子
佐伯勤労青少年ホーム(佐伯区)

着物や浴衣に初めて自ら袖を通した日。先生の懇切丁寧な指導のもと、拙いながらもなんとか自分で最後まで着られた喜び。背筋がピンと伸びる心持がしました。日本の民族衣装である着物は、昔の人が日常的に着ていたものです。です。覚えてしまえば案外スルスルと自分で着付けられるようになり、着物でコーディネートやお出かけなどという楽しみ方もできるようになります。サークルでは、冠婚葬祭で使える正装、宮島などに気軽に着ていける街着など、TPOに合わせた着付けを習うことができます。月1回ではありますが、優しく楽しい先生とメンバーとの会話も楽しみなながら、回を重ねることに自然とコツも習得。

家にならなくても着る着物たちやリサイクル着物で気軽にスタートできます。第3火曜日午後7時から活動しています。まずは見学や体験からどうぞ。



情報の森

生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に活かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 まちづくり市民交流プラザ

申込方法 電話、ファックスにより、

①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファックス番号)。先着順により定員になり次第締め切ります。

※各講座とも全回参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っておりません。

申込開始日が講座によって異なります。申込開始日まではお受けできませんので、下記の表をご確認ください。

申込・問合せ 講座によって異なります。

④広島修道大学 ひろしま未来協創センター

☎082・830・1114
082・830・1932

⑦⑤(公財)広島市文化財団ひとまちネットワーク部管理課事業係

☎082・541・5335
082・541・5611

[シティカレッジ]

大 学	⑦広島国際大学	④広島修道大学	⑥広島女学院大学	⑤日本赤十字広島看護大学
講座名	現代人のこころの課題 ～現代心理学の最前線	やさしい英語で学ぶ ブリッジ入門	生活のなかのデザイン ～モダン・装い・住まい	認知症の予防と ケアの新知見
日 時	5/9・5/16・5/23・ 5/30 土曜(全4回) 15:00～16:30	5/9・5/16・5/23・ 5/30・6/6 土曜(全5回) 18:00～20:00	5/22・5/29・6/5・ 6/12 金曜(全4回) 18:00～19:30	7/7・7/14・7/21・ 7/28 火曜(全4回) 18:00～19:30
対 象 員	高校生、大学生、 社会人 50人	高校生、大学生、 社会人 30人	大学生、社会人 50人	社会人 50人
受講料	無料	5,000円	無料	無料
申込開始日	4月1日から	4月1日から	4月15日から	6月1日から

イベント

三滝少年自然の家からのお知らせ

①ガイドと歩く宗箇山(そうこやま)のんびり散策(第1回みたきネイチャー入門)

専門的な講師を招いて自然環境を活用した研修を行い、自然体験活動についての知識・理解を深めるとともに、野外活動プログラムを体験しながら意欲関心を高めます。

日時 4月18日(土)午前9時半～午後2時半

内容 自然散策(弁当持参)など

定員 15人

対象 15歳以上(中学生を除く)※保険料などの参加費が必要となります。

申込方法 受付開始日午前8時半から下記申込先まで電話でお申し込みください。名前、性別、年齢、住所、郵便番号、電話番号、未成年の場合は保護者名をお知らせください。

申込受付期間 4月1日(水)～4月15日(水)【先着順】



▲自然散策の様子

②第1回三滝自然ファミリールンド野鳥・昆虫・植物・星座など三滝の魅力ある自然を活動に活かし、野外での遊びや観察などを通して、自然に親しみます。また、体験活動を通して個々の家族の絆を深め、他家族と交流することができます。



▲キャンプファイアの様子

日時 5月16日(土)～17日(日)

内容 野外炊飯、キャンプファイアなど

定員 16家族

対象 小学生以上の子どもとその保護者

※保険料・食費・薪代・資料代などの参加費が必要となります。

申込方法 事業名、郵便番号、住所、電話番号、家族全員の名前とふりがな、性別、児童生徒は学年を記入し、82円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛名を記入)を同封して下記申込先まで郵送してください。

申込受付期間 4月1日(水)～4月15日(水)【必着】

③第1回三滝自然ワンダーランド野鳥・植物・星空など三滝のもつ自然の魅力を活動に活かし、日頃できないような自然体験活動を行い、

思い出づくりをしながら絆を深めましょう!

日時 6月27日(土)～28日(日)

内容 野外炊飯、キャンプファイアなど

定員 42人

対象 小学校4年生～6年生

※保険料・食費・薪代・資料代などの参加費が必要となります。

申込方法 事業名、名前、ふりがな、性別、郵便番号、住所、電話番号、学校名、学年、保護者名を記入し、82円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛名を記入)を同封して左記申込先まで郵送してください。

申込受付期間 5月1日(金)～5月15日(金)【必着】

※①②③共通項目

開催場所 広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター

申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 広島市西区三滝本町二丁目73番地の20

☎082・238・6301
082・238・6302



▲野外炊飯の様子

ひと・まち広島未来づくりファンドHm(ふむむ)

第12回助成団体最終活動発表会&第13回助成応募団体公開審査会

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金Hm(ふむむ)。広島市の未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たにに取り組もうとしている提案事業の審査を行います。

日時 5月16日(土)

最終活動発表会：午前10時～正午
公開審査会：午後1時～5時半

場所 まちづくり市民交流プラザ北棟4階ギャラリ

問合せ (公財)広島市文化財団ひとまちネットワーク部管理課事業係
☎082・541・5335



▲昨年の公開審査会

安倍圭子国際ジュニアマリリン音楽祭in広島

国際的なマリリン演奏家であり、作曲家の安倍圭子氏の想いで立ち上げ、将来ある世界の子どもたちが参加し、マリリン演奏を通して平和と交流を目的とする世界で初めての音楽祭を広島で開催します。



日時 4月19日(日)午後4時開演(午後3時半開場)

内容 第一部「広島ジュニアマリリンアンサンブル」演奏、海外選抜少年2人のソロ演奏、国内ジュニアコンクール入賞者のソロ演奏/第二部 安倍圭子氏、地元奏者石原有希子・泉亜希・浅田真生、「広島ジュニアマリリンアンサンブル」打楽器2人による安倍圭子作品の演奏

場所 広島県民文化センターホール(広島市中区大手町二丁目5番3号)

入場料 前売3,000円/当日券3,500円(全席自由)

問合せ ☎080・1903・6067(井上)

募集

平成27年度第8回「神楽ふれあい青少年育成体験教室」第8期生募集

日本古来から伝わる神楽を通じて、礼儀作法の大切さや人との連帯心、礼節を学びながら郷土芸能の神楽を継承する子どもたちの育成を図っています。第1期～第7期生の子どもたち600余人(70校以上)も一生懸命稽古に励んでいます。

一人ではできない演目「塵倫」を少年少女神楽団ヒロシマ夢の団員第8期生として体験しませんか。

対象 神楽の大好きな小学校1年生～中学校3年生

参加費 無料

募集期間 4月1日(水)～平成28年3月31日(木)



▲「神楽ふれあい青少年育成体験教室」稽古の様子

助成

(公財)広島市文化財団平成27年度下期文化活動助成事業

市民の皆さんの自主的な文化活動の促進を図るため、団体または個人の文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体

①文化活動の場が主として広島市内にあること

②個人、または団体の構成員の5割以上が広島市内に居住または通勤・通学していること

③団体の所在地、または連絡先が広島市内にあること

④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること

⑤国、地方公共団体および企業等が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと

⑥非営利団体であること(講師が

受講料を募り受講料・会費を徴収する教室等は助成対象外)

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能などの文化活動を行っている団体または個人が行う日ごろの活動の成果を発表する事業(出版物の発行は除く)で次に掲げる要件に該当するもの

①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること

②非営利の事業であること

③政治または宗教活動と関わりのない事業であること

対象事業の実施期間 10月1日～平成28年3月31日

助成金額 助成の対象となる経費の2分の1以内で1件の助成額が20万円以内

応募方法 所定の申請書に必要事項をご記入のうえ、左記お問い合わせ先に提出してください。

※詳細は左記ホームページをご覧ください。

受付期間 6月1日(月)～30日(火)

【当日消印有効】

※受付時間 月～金の午前9時～午後5時

申込・問合せ 公益財団法人広島市文化財団事業課

〒730-0812 広島市中区加古町4-17

☎082・244・0750

082・245・0246

URL <http://www.city.hiroshima.jp/bunka/>

プラザ 主催事業の ご案内

楽しい(タノシゴト)のための あそびCafe

みなさん、素敵な余暇を過ごしていますか？

「あそびCafe」では毎月第3土曜日に気軽にお茶をのみながら相談員のみなさんによる余暇を楽しむための話と余暇についての個別相談や「余暇診断シート」を使ったアドバイスを受けることができます。ぜひお気軽にお越しください。

日時 4月18日(土)、5月16日(土)、6月20日(土)、7月18日(土)
いずれも午後2時～3時半
※受付開始は午後1時半

場所 まちづくり市民交流プラザ南棟1階ロビー

相談員 広島県余暇プランナー協会会員



①生涯学習及びまちづくり等の振興に寄与し、プラザの施設及び附属設備を活用して団体等が主体的に企画・実施する事業②先進性、モデル性がある事業③公益性がある事業④複数の団体や企業、行政機関等と連携して実施する事業⑤予算を含む事業計画に無理がない事業

申込方法 所定の申請書に必要事項を記入のうえ、団体の概要がわかる資料、事業計画書・事業予算書等(様式自由)を添えて、プラザまで来館によりお申し込みください。

※1団体につき1事業。
※審査のうえ、共催事業として開催できない場合もあります。

「プラザ主催事業のご案内」に関する お問合せは…

まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036
広島市中区袋町6番36号
☎082-545-3911
FAX082-545-3838

平成27年度以降 実施予定の主催事業(概要等)

公益財団法人広島市文化財団は、平成27年度からの5年間、引き続きまちづくり市民交流プラザの指定管理者として施設の管理運営を行ってまいります。今後とも市民の皆さまに親しまれる施設運営を目指して努力してまいりますので、

パソコン講座

①今さら人に聞けない
Windows 8.1の疑問点

日時 5月10日(日)～5月24日(日)「毎週日曜日 全3回」午後1時半～3時半

受講料 3,500円(テキスト代込)

対象 マウス操作のできる方

②Jindoでホームページ作成講座

日時 5月15日(金)～6月5日(金)「毎週金曜日 全4回」午後7時～9時

受講料 4,500円(テキスト代込)

対象 メールアドレスを持っていたり送受信ができ、インターネットの閲覧操作等ができる方

③ワード2013基礎講座

日時 6月4日(木)～7月23日(木)「毎週木曜日 全8回」午後7時～9時

受講料 10,160円(テキスト代込)

対象 文字入力・パソコンの基本操作ができる方

④無料ソフトGIMPの技あり！
写真加工

日時 6月19日(金)～7月17日(金)「毎週金曜日 全5回」午後7時～9時

受講料 5,500円(テキスト代込)

対象 文字入力・パソコンの基本操作ができる方

ご利用：ご利用くださいますようお願いいたします。また、この春よりマルチメディア実習室のパソコンなどの設備が一部新しくなります。ご利用をお待ちしています。

◆マルチメディア実習室

常設のパソコンがノート型になり、パソコンを使わない内容を含む研修などにもご利用しやすくなります。

※新しく導入するパソコンはOS「Windows 8.1」、オフィスソフト「Office 2013」になります。

◆フリースペース作業室

新たに2色同時印刷機を導入します。1回の製版で2色刷りの印刷ができます。(製版料金のみ単色の2倍になります。)

フルカラーにするほどではないけど少し華やかにしたい印刷物などにご利用ください。

平成27年度実施予定の主な講座等
は下のとおりです。実施時期などの詳細は、プラザホームページや「市民と市政」、チラシなどで随時お知らせしますので、皆さまの参加をお待ちしております。また、プラザでは、「ひろしま情報a-ネット」によるメールマガジンで最新の情報を発信しています。「ひろしま情報a-ネット」は、市民活動・生涯学習を支援する総合ポータルサイトです。メールマガジンによる情報提供を希望の方は左記URLよりご登録ください。

URL

http://www.a-net.shimane-city.hiroshima.jp/

⑤インターネット活用検索のコツと楽しみ方

日時 7月5日(日)～7月26日(日)「毎週日曜日 全4回」午後1時半～3時半

受講料 4,500円(テキスト代込)

対象 文字入力及びマウス操作のできる方

⑥クラウドサービスとタブレットの連携

日時 7月31日(金)～8月7日(金)「毎週金曜日 全2回」午後7時～9時

受講料 2,500円(テキスト代込)

対象 文字入力・パソコンの基本操作ができる方

⑦楽しいパソコン基礎講座

日時 9月10日(木)～12月17日(木)「隔週木曜日 全8回」午前10時～正午

受講料 8,500円(テキスト代込)

対象 初めてパソコンに触れる方、パソコン初心者の方

⑧デジカメ写真の活用講座

日時 9月10日(木)～12月17日(木)「隔週木曜日 全8回」午後1時半～3時半

受講料 8,500円(テキスト代込)

対象 文字入力・パソコンの基本操作ができる方



⑨暮らしに活かすワードの講座

日時 9月11日(金)～12月18日(金)「隔週金曜日 全8回」午前10時～正午

受講料 8,500円(テキスト代込)

対象 文字入力ができ、クリップアート等の挿入ができる方

⑩暮らしに活かすエクセル講座

日時 9月11日(金)～12月18日(金)「隔週金曜日 全8回」午後1時半～3時半

受講料 8,500円(テキスト代込)

対象 文字入力・パソコンの基本操作ができる方

※①～⑩共通項目

定員 38人

申込期間

①②4月1日(水)～5月1日(金)
③4月15日(水)～5月24日(日)
④5月15日(金)～6月8日(月)
⑤5月15日(金)～6月25日(木)
⑥6月15日(月)～7月21日(火)
⑦⑧⑨⑩7月15日(水)～8月22日(土)【①～⑩すべて必着】

申込方法

往復はがきまたはファクスで講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・ファクスでお申込みの方はファクス番号)を記入のうえ申込期間内にまちづくり市民交流プラザへお申込みください。①⑤⑦⑧⑨⑩の講座は、託児があります。託児(1歳半以上の未就学児)を希望の場合は子どもの年齢を記入ください。【要申込】

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方や基本的なパソコン操作に自信のない方を対象にパソコンを無料開放します。会場にはボランティアがいますので、気軽におたずねください。

日時 原則、偶数月の日曜日
午後1時半～4時半

参加費 無料

申込 不要

※パソコンの開放台数は20台
※パソコンの持込みはご遠慮ください。

平成27年度共催団体募集！ 「市民活動団体等成果発表事業」

皆さんの日頃の活動成果を、まちづくり市民交流プラザとの共催事業としてPRしてみませんか？
展示、上映、講演会など、表現方法は工夫次第です。団体のPRや会員の募集などにお役立てください。
実施時期 平成27年度中に終了すること

実施場所 まちづくり市民交流プラザ(研修室、ギャラリ、マルチメディアスタジオなど)

団体条件 原則として、広島市内を主な活動場所とし、まちづくりや生涯学習、ボランティアなどの活動に関わる市民団体、NPO団体等(個人での活動、営利団体、特定の政治や宗教にかかわる団体は除く)
実施条件 次の条件のすべてを満たす事業であること

【平成27年度実施予定の主催事業(概要)】

生涯学習相談会	社会人の大学活用など生涯学習に関する実践者の話と相談会を行います。
余暇活用相談会	余暇を楽しむための話と余暇活用に関する相談会を行います。
市民活動相談会	NPOの設立や資金調達、組織運営などに関する相談会を行います。
パソコン講座	ワードやエクセル、画像処理、ホームページ作成などのパソコン操作に関する学習機会を提供します。
パソコンサロン	ICTボランティアの協力により、基本的なパソコン操作について個人が自由にパソコンに触れる機会を提供します。
ボランティアきっかけづくり講座	ボランティア活動についての理解を深めるための学習機会を提供します。
市民活動きっかけづくり講座	市民活動について理解を深めるための学習機会を提供します。
市民活動団体運営支援講座	組織運営や資金の運用・調達など、団体運営のノウハウについて学習する機会を提供します。
市民活動団体パワーアップ講座	市民活動の先進事例等を学習するとともに、市民活動団体間の相互学習・情報交換の場を提供します。
市民活動人材育成講座	市民活動を進めるリーダーや実践者として必要な知識や技術を学習する機会を提供します。
まちかどサロン	生涯学習やボランティア、まちづくり活動の成果物の展示等、日頃の成果を発表する場を提供します。
まちかどコンサート	南棟1階ロビーにおいて、市民グループによる季節に応じたコンサートを行います。
生涯学習支援講座	地域の文化や歴史、環境や自然、防災対策など、市民のニーズや社会的課題に合わせた生涯学習支援のための講座及び講演会を実施します。

そのほか、企業・団体との連携事業や生涯学習・市民活動団体等の成果発表事業など、年間を通して多様なプログラムを提供予定です。



第9回まちづくり 市民交流フェスタ 開催報告

12月13日(土)、14日(日)の両日、まちづくり市民交流プラザとその周辺を会場に、「まちづくり市民交流フェスタ2014」を開催しました。

これまで5月に開催してきた「まちづくり市民交流フェスタ」ですが、今年度は参加団体や来場者のアンケートなどをもとに時期を変更し、初めて12月に開催することになりました。



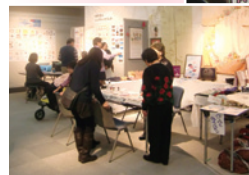
▲ステージ発表の様子

当日は寒空の中、屋外のバザーには、うどんや中国点心、野菜のセリ市、餅つきコーナーなどが並び、1階では三味線やハーモニカ、フラダンスや民謡などの華やかなステージ、4階ではツールペイントやカラーセラピー体験、発明品の展示など参加団体の活動紹介、他にも子どもが楽しめるキッズコーナー、自主製作映画の上映、講座・講演会の開催など、年齢性別を問わず楽しめる2日間となりました。

また、今年度は参加団体同士の交流として、フェスタ開催中、いくつかの団体と言葉を交わせるかという交流ラリーを行い、毎年フェスタに参加していたいただいている「広島気功(法輪功愛好者の会)」「中央公民館(定例活動日:第2・3・4月曜日の夜)などで活動」が40の団体と交流され、見事1位に輝きました!



▲キッズコーナーの様子



▲体験、展示などの様子

この「まちづくり市民交流フェスタ」は、広島市内近郊で市民活動や生涯学習活動などに取り組んでいる団体・グループの皆さまが、日頃の活動成果の発表や活動の紹介、情報発信などを行うとともに、参加団体同士や来館される市民の皆さまと交流を深め、活動の輪を広げていくことを目的に開催しています。

今回のフェスタは、公募で集まった9人の企画スタッフと各参加団体により組織された実行委員会が中心となって運営し、7月から企画や準備を進めてきました。

フェスタ当日は12月の寒さが厳しい中でしたが、5421人の方々にご来場いただき、来場者の皆さまのご協力と実行委員の努力により、市民活動や生涯学習活動、そしてまちづくり市民交流プラザを知っていただく絶好の機会になりました。

平成26年度の「まちづくり市民交流フェスタ」は終了しましたが、また4月からは次回開催のフェスタに向けて動き始めます。詳細が決まりましたらこの「らしっく」誌上でも情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。皆さまの参加をお待ちしています。



▲バザーの様子

募集しています!

「らしっく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「7月下旬発行予定」です。8月以降の情報をお待ちしています。下記、広島市まちづくり市民交流プラザまでお送りください。[5月末日必着]

広島市まちづくり市民交流プラザ

- 開館時間
午前9時30分～午後10時
- 休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日
- 交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす使用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

- ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>
- ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>
※メールマガジンの登録もできます。
- E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp

〒730-0036 広島市中区袋町6-36
TEL: 082 (545) 3911 (代表)
TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)
FAX: 082 (545) 3838

